

世相雑感 色々ウダウダばなし

<1> 人工知能は人工的なもの

AIだ！ ロボットだ！ とやたら騒がしい。

AIは、Artificial Intelligence つまり人工的に造られた知能である。重大なキーポイントは「人工的に作られた」というところにあり、「人が作るもの」だという点にある。

人間は色々な物事を体験したり、教わったりしながら様々な知識（Knowledge）を体に蓄えて、それを元に行動する。蓄える知識の中には、法律や社会の規範もあれば、経験則もあり、噂や風聞もあれば事例もある。

予め世の中に存在する知識をすべてコンピュータにぶちこんでおけば（Knowledge Database）、それを元に判断行動出来る可能性がある。そこに着目して考え出されたのが人工知能である。

この予めぶちこんでおく知識（情報）に不足や誤りがあれば、万全なものとは作ることが出来ない。

「AIは人を超越することができるか？」という議論をしばしば目にするが、「AIは人が作るもの」

「作る人の能力以上のものは作り得ない」ということを覚えておかななくてはならない。

「AIを応用した無人運転自動車」を例にしてみれば・・・、

「前方を走る車のブレーキランプが転倒したら、こちらの車もブレーキを踏まなければいけない」という知識を予め与えるのを失念してしまったら、この自動車は「空いている道路は難なく走れるが、混雑してくると追突事故を発生させる」という欠陥（バグ）を抱えることになる。

近頃急激に社会に浸透してきているカーナビゲーション、使用者の方が「カーナビの阿呆さ加減」に立腹する場面をしばしば耳にするがこれとて同じ事。

ひとりの阿呆な政治家が、赤いボタンを押してしまったら地球が滅亡の危機にさらされるという話と同次元のことなのかもしれない。

AIでもロボットでも研究や実験は大いに進めて貰いたいと思うが、作る人の資質により出来栄の良否が決まるということ覚えておかなければならない。

この手のものは「Non Intelligent A.I. (N.I.A.I. : ナイアイ)」と名付けるべきかもしれない。



こんなことを心配していたら、世の中はもっとえらい事になっていた。新聞の折り込みに入っていたジャパネット何某の広告に載っていた自動掃除機の效能説明に

「人工知能AI」という言葉が出ていた。

こうなると「A I A I (アイアイ)」とでも名付けるべきなのかもしれない。

<2> 地図を読む力・地図を書く力

カーナビゲーションの普及が急速に進んだ。おまけに、怪しげな事件が多発したせいかドライブレコーダーを装着する車も増えてきた。

カーナビゲーションに頼るようになると、自分の目で見て判断する能力は低下するような気がしてきた。50年以上前、登山を始めたばかりに頃、初めて訪れた土地で、現在どこに居るのがわからなくなった時に磁石を出して方角を確認して地形図を広げて磁石の北に合わせて置いて周囲に見えるものを確認する。その結果、自分が立っている場所が地図上のどこなのを確認する。

カーナビゲーションを利用すると、「アナタが今いるところはここですよ」と考える前に示されてしまう。「次に行きたいところ（目的地）」を示せば道案内して貰えるのだが、時としてカーナビゲーションのシステムが「その目的地名称」を掌握していないことはしばしばある。そういう事態に陥ると、方角の特定と広域の地図が必要になる。ナビゲーションの画面を「進行方向モード」から「北向き地図モー

ド」に切り替える。それでも画面が小さいので細かなことの確認には限界があるし、地図画面上にすべての情報が載っているわけではないので、限界がある。

見知らぬ土地に出向くときには、今でも磁石とロードマップまたは地形図も携行するようにしている。山歩きをする友人は、「カーナビゲーションの画面はいつも北向き地図モードにしている」と言う。世の中に「地図を読み取れない人」「方向感覚のわからない人」「地図を書けない人」が増えているようだが、これも便利さが生んだ弊害のひとつなのだろう。

<3> 鉄道運行状況

「XXX 線はただ今運転を見合わせています」という情報を目にしたり耳にしたりすることが多い。実際に何が起っているのかがわかると、この説明が適切なのか疑問に思うケースが少なくない。

「運転を見合わせている」とは、「運転が可能な状況にあるが、満を持して運行しないでいる」ことを意味するものだと思う。

「鉄道の運行現場で事故や事件が起きた」ことが原因で運行ができなくなった場合には「運転が出来ない状況にある」ので、「見合わせている」という表現は不適切なように感じる。

「線路の点検を行ったため遅れが出ております」という情報もしばしば耳にする。数分の一本の電車が走る状態で突如線路点検を行うことになるのには、それなりの説明が必要になる。「線路に落下物があったため、緊急線路点検を行った」のか、「踏切支障警報装置が動作したので緊急線路点検を行った」のかなどなど何故運行中に線路の点検を行うことになったのかがわからないと意味がない。

また、時には「夜間線路点検を行ったため、始発電車から遅れが発生しています」という情報が流れることもあるが、「夜間線路点検で不手際があったため始発電車に間に合わなかった」のか、それとも

「夜間の線路点検で重大な問題点が発覚したため、点検時間が長引いた」のかを明らかにすべきように思う。

「とりあえず、この程度の情報を流しておけば良いだろう」という「一時しのぎ」的発想や「誤魔化し」的発想が見え隠れするのだが。

<4> 国家の犯罪か

「技能実習生」と称して外国から入ってきた人を「安価な労働力」として使うことが、あたりまえのように横行している。一部には「労働力の不足を補うためには必要な手段」とまで明言する人がいる。一方では、「入国査証」を偽って日本へ働きに来る外国人もいたりする。

国内では、定職にありつけなかい人がいたり、非正規雇用で安い給与でしか職を得られない人が沢山いるにも関わらず、こんなことがあってもいいのだろうかと思いを傾けてしまう。

「調査捕鯨」と称して鯨を捕獲しているが、それが食用として使うものになっている。見方によっては「食用鯨の確保」のために「調査捕鯨」をしているのだとまで言う人もいるらしい。

「鯨は我が国の食文化からは切り離せない」と、国際舞台で主張している人もいるという。本当に、国民の食生活になくってはならない存在なのか、国民投票でもしてみればすぐにわかること。

何だか「国家をあげての犯罪」のように見えてしまうものが目立つが、考えすぎだろうか。

大の大人にさえ「何が正義か？」わからない近頃の事象、学校では生徒にどう説明しているのだろうか？

以上